

岩手ようごの会」第14回実践交流会のご案内&第13回の報告



平成30年5月25日
岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

新しい風と共にスタートした新年度も、五月後半に入りました。皆様には定期健康診断の中盤を迎え、これから実施するものと終了した健康診断の結果通知や保健指導等が同時進行し、繁忙な日々をお過ごしのことと存じます。本会では、第14回実践交流会を定期健康診断に関するテーマで開催します。今まさに旬なテーマで、実践を交流し共有したいと思います。ご参加を心よりお待ちしております。

.....第14回 実践交流会のご案内.....

テーマ 「健康診断 計画から実施、事後措置までの流れを追って・・・
一連の実践から次年度に活かすヒントを探ってみませんか」

* 日時：平成30年6月30日(土) 10:00~12:30 * 場所：アイーナ6F 団体活動室 3

定期健康診断の計画立案から実施、事後措置までの展開は、保健管理面と保健教育面が並行して実施され、執務は多岐にわたっています。皆さんはこの一連の流れをどのように実践されていますか？

今回は、検診の項目について計画立案からスタートし、実施、事後措置までの流れを追って実践をご紹介いただき、皆さんで次年度に活かせるヒントを探っていききたいと思います。

当日は、2名の先生から内科検診等の流れをご紹介します。その実践から目標や力点、展開の仕方・工夫等について交流を深めたいと計画しております。

ご参加の際に、実践をご紹介いただける方は資料等の提供をいただけると助かります。30部ご持参をお願いします。また、ご自身の学校における課題があればお持ちください。

お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。

第13回実践交流会の報告

第13回のテーマは、「保健室登校の子どもへの対応 ―組織的な対応をするために―」として、「チーム学校」として組織的に子どもが課題解決に向けた支援が受けられるよう、支援プロセスの中で養護教諭が「やってみたいこと、行いたいこと」について実践交流を行いました。

【実践紹介】

❀盛岡市立津志田小学校 田村美穂子先生 ❀岩手県立前沢高等学校 久多良知花先生

2名の先生方からは、「本校の組織対応と連携、養護教諭の役割」について、実際に保健室で対応している事例から組織対応と連携の実際、そこで養護教諭はどのように動き、どう支援を行っているか紹介いただき、その後、組織的対応の実際的な進め方と課題について参加者で交流を行い、切り口などヒントを得ることが出来ました。

<実践交流とシェアリングの紹介・・抜粋>.....❀組織的対応が整備されている学校は、保健室・別室登校の原則、アセスメント、事例検討会の開催、支援計画の作成、役割分担等がシステム化され、見える化もできていた。❀まだまだ苦戦している人が多い。参加者の実践が聞け、自分の動き方の参考になった。❀「チーム学校」としての組織的な支援が理解できた。❀小学校の実践から、別室登校の子どもが自らその日の活動を記入し自己評価して提出、担当からコメントをもらって自宅に持ち帰る記入表は小中高で使える。高校のサポートシートも活用させて欲しい。❀保健室登校の原則は、保健室経営計画にも入れたい。❀養護教諭は職員会議等で情報発信が必要。❀**まとめ**：「チーム学校」としての組織的な対応は、体制の整備が大切であること。子どもの発達と教育的な支援が第一であり、養護教諭には子どもの支援とコーディネーター的役割がある。**組織的対応の参考にしたい文献**として、平成29年3月文科省発行「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援」がある。進め方についての具体的なステップと養護教諭、管理職、担任、関係職員、他のスタッフの果たす役割が分かりやすい。

「岩手ようごの会」について.....「ご紹介します！」

「岩手ようごの会」は、養護教諭に関する研修(子どもの心身の発達支援及び養護教諭の資質や力量の形成)とその発展を目的として平成26年7月13日に発足しました。主な事業は、実践交流会や研修会、親睦会等を開催し、養護教諭・養護助教諭・退職養護教諭の交流・親睦を図る内容となっています。本会の詳細は、養護教諭部会様ホームページに掲載していただいております。(第13回実践交流会の案内もご参照ください) <http://www2.iwate-ed.jp/yougo/>